

地域経済分析システム（RESAS）による
熊谷地域製造業に関する調査報告書

平成 30 年 1 月

まちづくり熊谷

目 次

調 査 目 的	1
調 査 概 要	1
調 査 手 順	1

地域経済分析システム（RESAS）とは	2
---------------------------	---

○ 生産額（総額）の推移について	3
○ 川越市・太田市のデータ	9
○ 地域経済分析とは	17
○ 熊谷市の地域経済循環図（2013 年）	20
○ 支出分析（民間投資・民間消費・その他支出）	22
○ 分配分析（雇用者所得）	25
○ 熊谷市の産業構造	26
○ 埼玉県内 40 市の地域経済循環率の推移	27
○ 熊谷市の生産・分配・支出の推移	28

製造業に関する分析

事業所数の推移	29
従業者数の推移	31
製造品出荷額等の推移	35
付加価値額の推移	36
付加価値額（1 事業所あたり）の推移	38
労働生産性（実数）の推移	39

参考資料

RESAS のマップ名・用語一覧表

経済産業省「地域経済分析システム（RESAS）」を使った自治等の
取組事例の概要（2017）

経済産業省作成「地域経済分析の考え方とポイント」

埼玉県統計課公表資料

調査目的

まちづくり熊谷では、昨年度（平成 28 年度）ものづくり熊谷からの依頼を受け、地域経済分析システム（RESAS）による調査に取り組みました。その後、RESAS データの更新等も行われたことなどから“推移に着目した調査”をとの依頼を受け本調査を行いました。本調査がものづくり熊谷の今後の施策・事業の方向性の検討に少しでもお役に立てばと考えております。

調査概要

地域経済分析システム（RESAS）には、地域経済循環マップ、産業構造マップをはじめ数多くのマップがあり一部を除き誰でも見ることができます。本調査は、主に地域経済循環マップおよび産業構造マップを活用し、熊谷市の製造業の特長等を把握することを目的としています。地域経済分析システム（RESAS）のマップ名と用語、解説等については本報告書の資料編に掲載しました。

調査手順

熊谷市の経済の特長や製造業のデータを把握すること、比較すること、を念頭に調査を行いました。そのため、県内の比較、2010 年と 2013 年の推移、および太田市、川越市など他の都市との比較という手順を基本にした調査を行いました。

地域経済分析システム（RESAS）とは

RESAS（リーサス）は、Regional Economy Society Analyzing System の頭文字で正式名称は「地域経済分析システム」です。

“RESAS の教科書（日経 BP 社）”によると

『…もともとは経済産業省と中小企業庁が開発しましたが、石破茂地方創生担当大臣（当時）の肝いりで、2015 年にかけて内閣官房の「まち・ひと・しごと創生本部」に移管。同年 4 月にサービスが正式にスタートした経緯があります。同本部を支える事務局と内閣府の地方創生推進室が各省庁と連携しながら、システムの開発、各自治体や国民への普及を行っています。…当初は自治体向けとされていた RESAS も、その良さに気付いた個人や企業が活用し始めました。…RESAS の最大の特長ともいえるのが、経済産業省や総務省、農林水産省などの官公庁が保有するデータだけでなく、通信会社などの民間企業のデータも利用できるようにしていることです。…RESAS は、インターネットに接続したパソコン（PC）のウェブブラウザに「<https://resas.go.jp/>」と入力すれば、誰でも無償で簡単に利用できます。注意が必要なのが、ブラウザは PC 版のグーグル「Google Chrome」に限定されており、Internet Explorer やスマホやタブレットの Google Chrome では利用できないことです。』

熊谷商工会議所主催の「RESAS 研修会」（経産省関東経済産業局の地域経済分析システム普及活用支援調査員を講師に平成 29 年 9 月開催）には大勢の方が参加されました。企業向け RESAS 研修会などが各地各企業で開催されていくなかでリーサスが自社の経営にも役に立つ情報ツールのひとつになっていくものと思われます。

生産額（総額）の推移について

“経済循環マップ” から熊谷市の生産額（総額）について調査しました。

2010 年と 2013 年の 3 年間の推移、川越市・太田市など近隣都市との比較は、熊谷市の特長等を考える上でのヒントも潜んでいるのではないかと思います。

なお、操作の手順も掲載しましたので、実際に RESAS を操作してみることをお勧めします。殆どコストのかからないビッグデータ満載の RERAS をご活用ください。

生産額（総額）産業分類カラー

操作手順

- ①地域経済循環マップ⇒②生産分析⇒③市町村単位で表示する（埼玉県・熊谷市）
→④2010→⑤生産額（総額）→⑥全ての中分類→⑦地域内産業の構成を見る
・ 2013 年も同様の手順

- | | |
|---|--------------------------|
| ・ 熊谷市の生産額の総額は | 2010 年は 1 兆 5573 億円 |
| | 2013 年は 1 兆 6302 億円 |
| 2010～2013 年の間は微増（額で 729 億円、率で約 4.7%の伸び） | |
| ・ “化学” の占める割合は拡大 | 2010 年は 2701 億円（全体の 17%） |
| | 2013 年は 3925 億円（ ” 24%） |
| ・ “輸送用機械” は約 1 千億円の減 | 2010 年は 1384 億円 |
| | 2013 年は 313 億円 |

生産額（総額）移輸出入カラー

操作手順

- ①地域経済循環マップ⇒②生産分析⇒③市町村単位で表示する（埼玉県・熊谷市）
→④2010→⑤生産額（総額）→⑥全ての中分類→⑦地域内産業の構成を見る→移輸出入
カラー
・ 2013 年も同様の手順
・ 地域外から所得を稼いでいる産業を把握する

※移輸出入収支がプラスは「赤色」（マイナスは「青色」）を表します。

地域の移輸出額－移輸入額＝移輸出入収支

- ・2010年から2013年を通じて移輸出入収支がプラスの業種は、化学・一般機械・金属製品など
- ・2013年にプラスに転じた業種は、電気機械など

付加価値額（総額）移輸出入カラー

操作手順

①地域経済循環マップ⇒②生産分析⇒③市町村単位で表示する（埼玉県・熊谷市）
→④2010→⑤付加価値額→⑥全ての中分類→⑦地域内産業の構成を見る→移輸出入カラー

- ・2013年も同様の手順

・付加価値額は2010年から2013年で675億円伸び、総額8948億円、“稼ぎ頭”は化学

※生産額（売上高）－〔（商品仕入高＋材料費＋外注加工費）〕＝付加価値額（域内の総生産高から原材料等の中間投入を控除した値）

熊谷市

●2010年 生産額(総額) 産業分類カラー



●2013年 生産額(総額) 産業分類カラー



熊谷市

●2010年 生産額(総額) 移輸出入カラー



●2013年 生産額(総額) 移輸出入カラー



熊谷市

●2010年 付加価値額(総額) 産業分類カラー



●2013年 付加価値額(総額) 産業分類カラー



熊谷市

●2010年 付加価値額(総額) 移輸出入カラー



●2013年 付加価値額(総額) 移輸出入カラー



川越市

●2010年 生産額(総額) 産業分類カラー



●2013年 生産額(総額) 産業分類カラー



川越市

●2010年 生産額(総額) 移輸出入カラー



●2013年 生産額(総額) 移輸出入カラー



川越市

●2010年 付加価値額(総額) 産業分類カラー



●2013年 付加価値額(総額) 産業分類カラー



川越市

●2010年 付加価値額(総額) 移輸出入カラー



●2013年 付加価値額(総額) 移輸出入カラー



太田市

●2010年 生産額(総額) 産業分類カラー



●2013年 生産額(総額) 産業分類カラー



太田市

●2010年 生産額(総額) 移輸出入カラー



●2013年 生産額(総額) 移輸出入カラー



太田市

●2010年 付加価値額(総額) 産業分類カラー



●2013年 付加価値額(総額) 産業分類カラー



太田市

●2010年 付加価値額(総額) 移輸出入カラー



●2013年 付加価値額(総額) 移輸出入カラー



地域経済分析とは

解説書によると、

“これまで、地方では地域活性化のための企業誘致等を進めてきましたが、誘致に成功しても域内の企業との取引が少なく地域の経済が思ったほど活性化しなかったり、誘致した企業が撤退してしまうといった事例もあります。

また、大規模商業施設を誘致したものの、中心市街地の商店街が郊外の大型ショッピングセンター等との競争に勝てず、商業施設の雇用が増える一方で中心市街地の衰退・空洞化が進む等、新たな問題が発生することにより地域経済の活性化が当初の狙い通りに進んでいない地域もあると考えられます。

地域経済が活性化するためには、地域が付加価値を生み出す力を高める必要があります。しかし、各産業が「生産」によって獲得した付加価値が、住民の賃金や企業の利潤等として「分配」され、消費、投資、域際収支という形で「支出」され、それがまた地域の生産に向かうという所得（企業所得等、個人の得る雇用者報酬以外の所得も含みます。以下同様）の循環（「地域経済循環構造」といったりします）の各場面において、必要以上に外部に所得が流出し（例えば、域内に域外と同価格かそれより安く、且つ同規模に調達できる材料を生産する企業があるにも関わらず、調達元の企業がその情報を知らないために、域外からの調達に頼ってしまっている場合等があげられます）、新しい付加価値を生み出すために必要な所得の流れが細くなっているような状況が見られる地域が存在します。

地域経済循環の分析とは、地域における経済を、3つの側面（生産、分配、支出）の4つの視点（生産、分配、消費、投資）からとらえ、地域が、地域の資源や強みを活かして域外に販売する機能（視点1）、得られた所得を域内の所得へと結びつける機能（視点2）、支出面で所得が域内への消費につながる機能（視点3）や企

業の投資を促す機能（視点 4）の状態を把握するものです。そうすることで、自分達の地域の経済循環構造をできる限り正確に見極め、地域の資源や強みを活かすことで、視点 1～4 のどの機能を強化できるかを診断することになります。

ここで注意すべきことは、地域経済循環を「地域内自給自足型経済の志向」「地域間のゼロサムゲーム」と混同しないことです。産品を地元からのみ調達し、域外から調達しない、というような方針を徹底すると、やがては高コスト構造となり域内の企業は外部との競争に負け、地域居住者全体にとってプラスとまらない可能性があります。

地域としては、自地域に強みのあるもの、またはポテンシャルはあるけれども地域内で有効活用されていない資源の競争力を伸ばし、自地域にとって強みでないものは思い切って域外から調達（移入）するというような判断も必要になるでしょう。このような機能分担を行うことで、日本全体の生産や効用が高まっていくものと思われます。

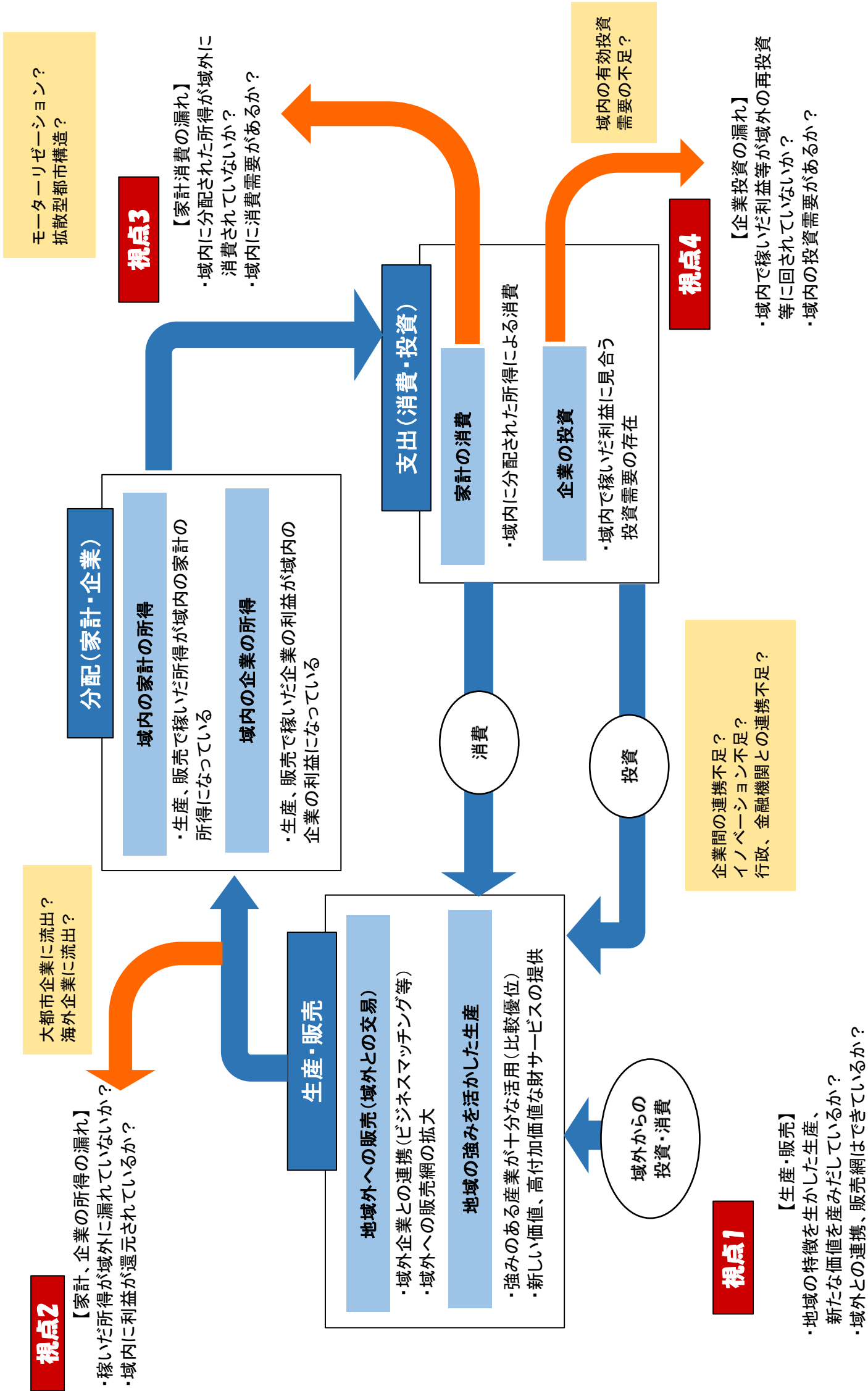
地域経済循環分析とは、その分析によって地域の生産や付加価値が高まるような「魔法の杖」ではなく自分達の地域の強みと弱みを正しく把握し、実効性の高い政策を打つためのツールである、と意識して用いることが重要でしょう。”

（（株）価値総合研究所 地域経済循環分析解説書より抜粋）

と表現されています。

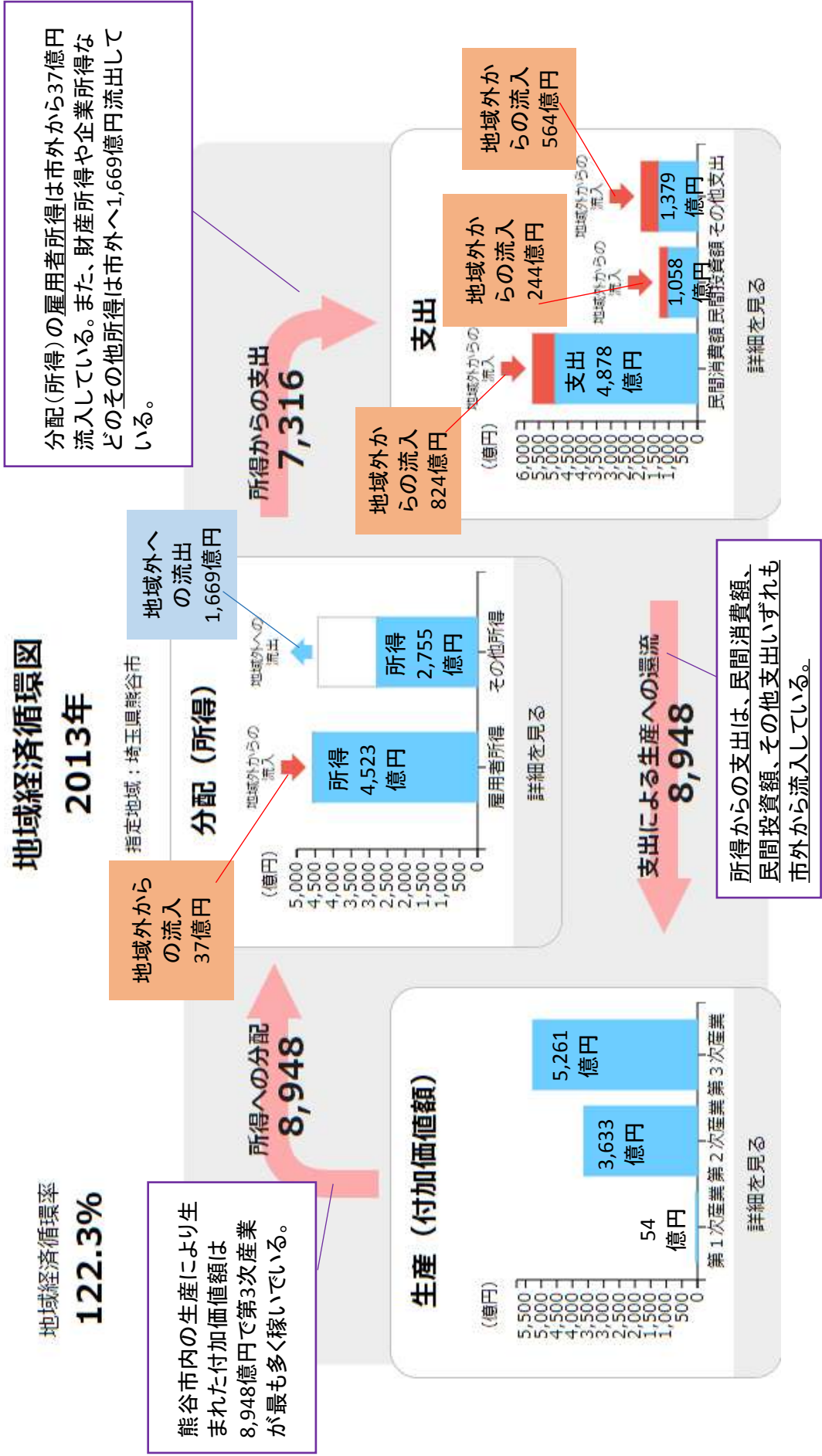
熊谷市経済の強み（弱さ）は長い積み重ねがあつての現象です。熊谷市に限らず特に製造業は、中小零細企業、中堅企業の優れた技術力や優秀な人材に支えられていると思います。RESAS 等のビッグデータの活用は製造業に限らず今後の産業振興上重要になってくるものと思われます。

地域経済循環の概要



地域経済循環図(熊谷市)

都道府県・市町村単位で、地域のお金の流れを生産（付加価値額）、分配（所得）、支出の三段階で「見える化」することで、地域経済の全体像と、各段階におけるお金の流出・流入の状況を把握することができます。



【出典】「RESAS地域経済循環マップ」－「地域経済循環図」/環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

「**地域経済循環率**」とは、**生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。（値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。）**

「雇用者所得」とは、主に労働者が労働の対価として得る賃金や給料等をいう。

「その他所得」は、財産所得、企業所得、交付税、社会保障給付、補助金等、雇用者所得以外の所得により構成される。

「その他支出」は、「政府支出」＋「地域内産業の移輸出－移輸入」により構成される。

例えば、移輸入が移輸出を大きく上回り、その差が政府支出額を上回る場合（域外からの財・サービスの購入を通じた所得流出額が政府支出額よりも大きい場合）は、「その他支出」の金額がマイナスとなる。

「支出流入率」とは、地域内に支出された金額に対する地域外から流入・地域外に流出した金額の割合で、プラスの値は地域外からの流入、マイナスの値は地域外への流出を示す。

地域経済循環図(越谷市)

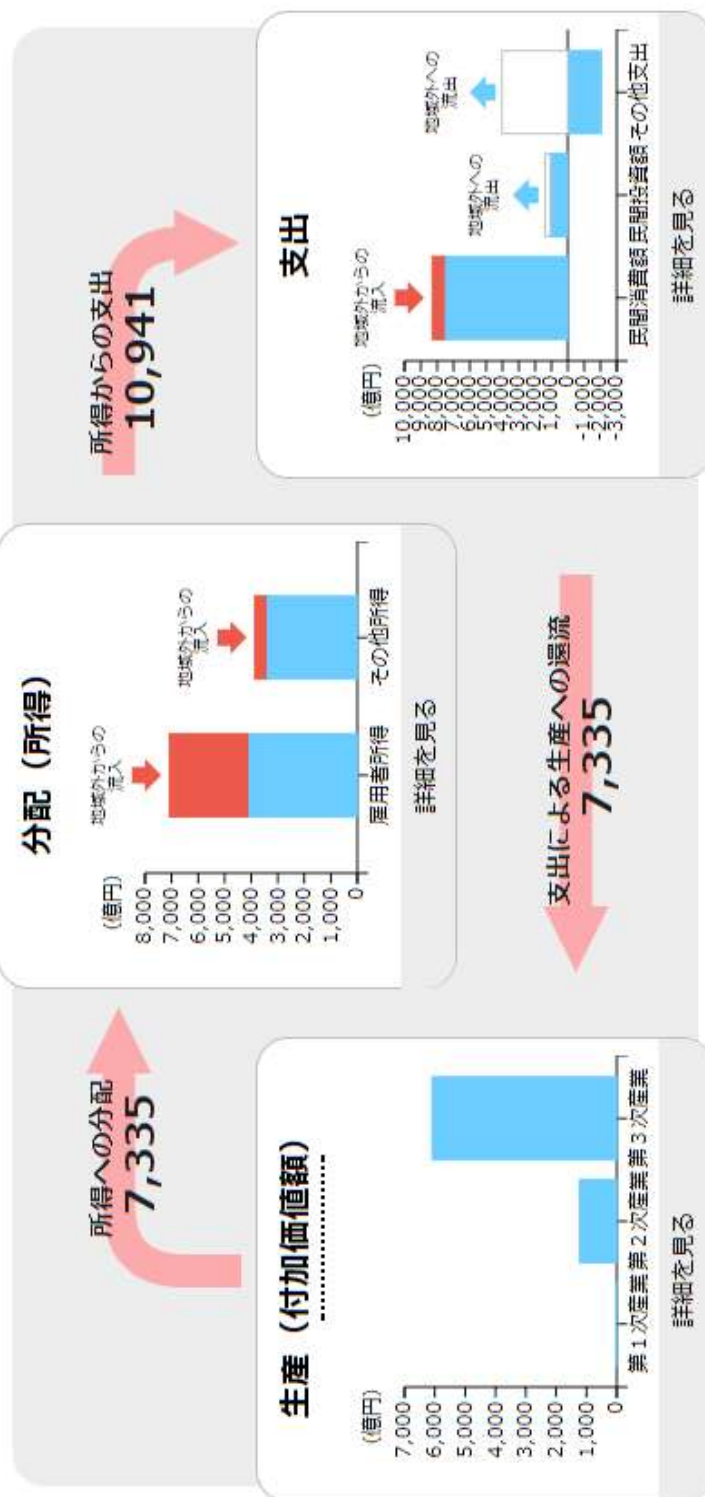
地域経済循環図

2013年

指定地域：埼玉県越谷市

地域経済循環率

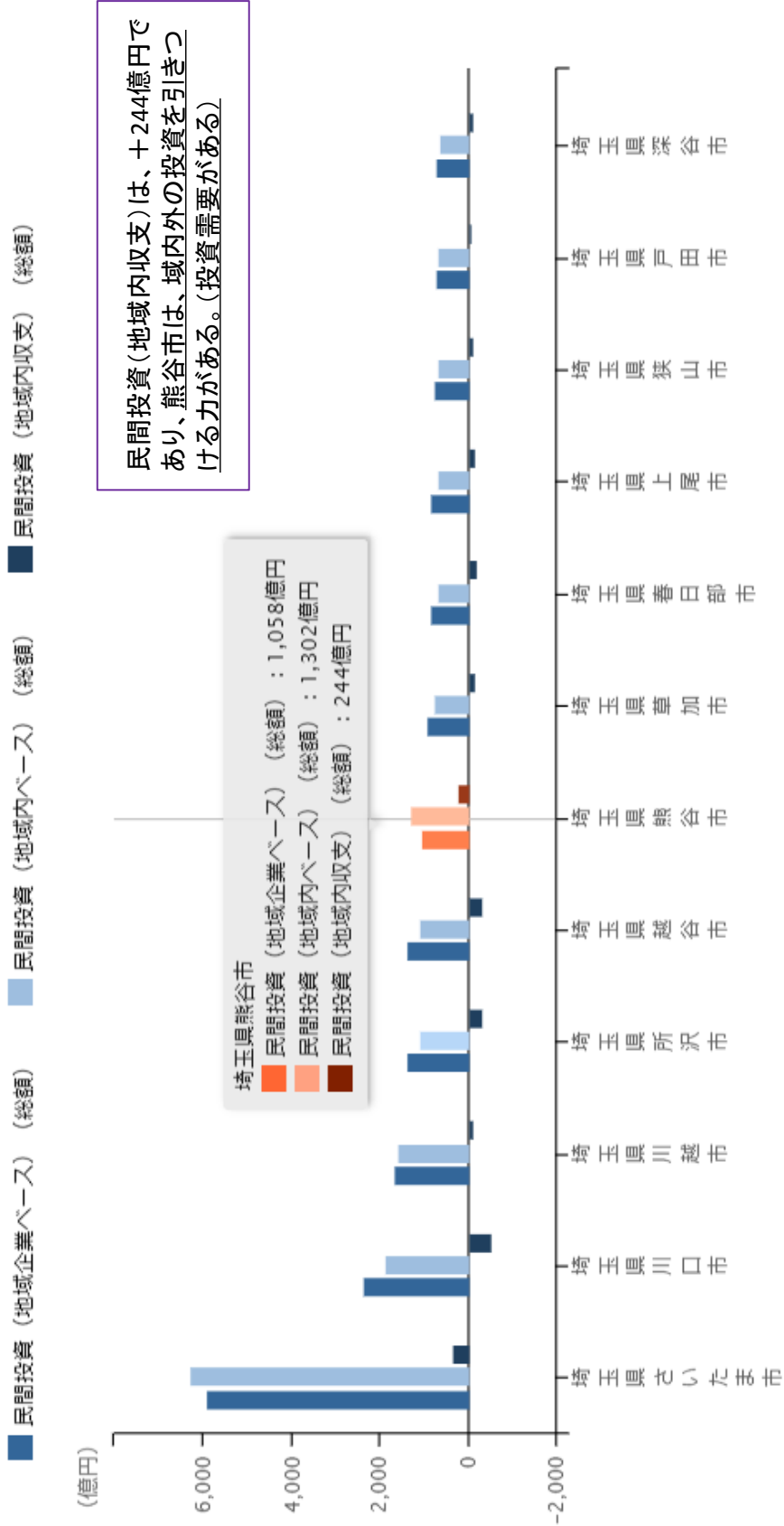
67.0%



支出分析

民間投資（総額）
2013年

指定地域：埼玉県熊谷市



○地域企業ベースとは、地域の中に立地する民間企業等が投資した額（どの地域に投資したかを問わない）
○地域内ベースとは、域内（熊谷市内）で行われた民間投資の額（どの地域のどの企業が投資したかは問わない）

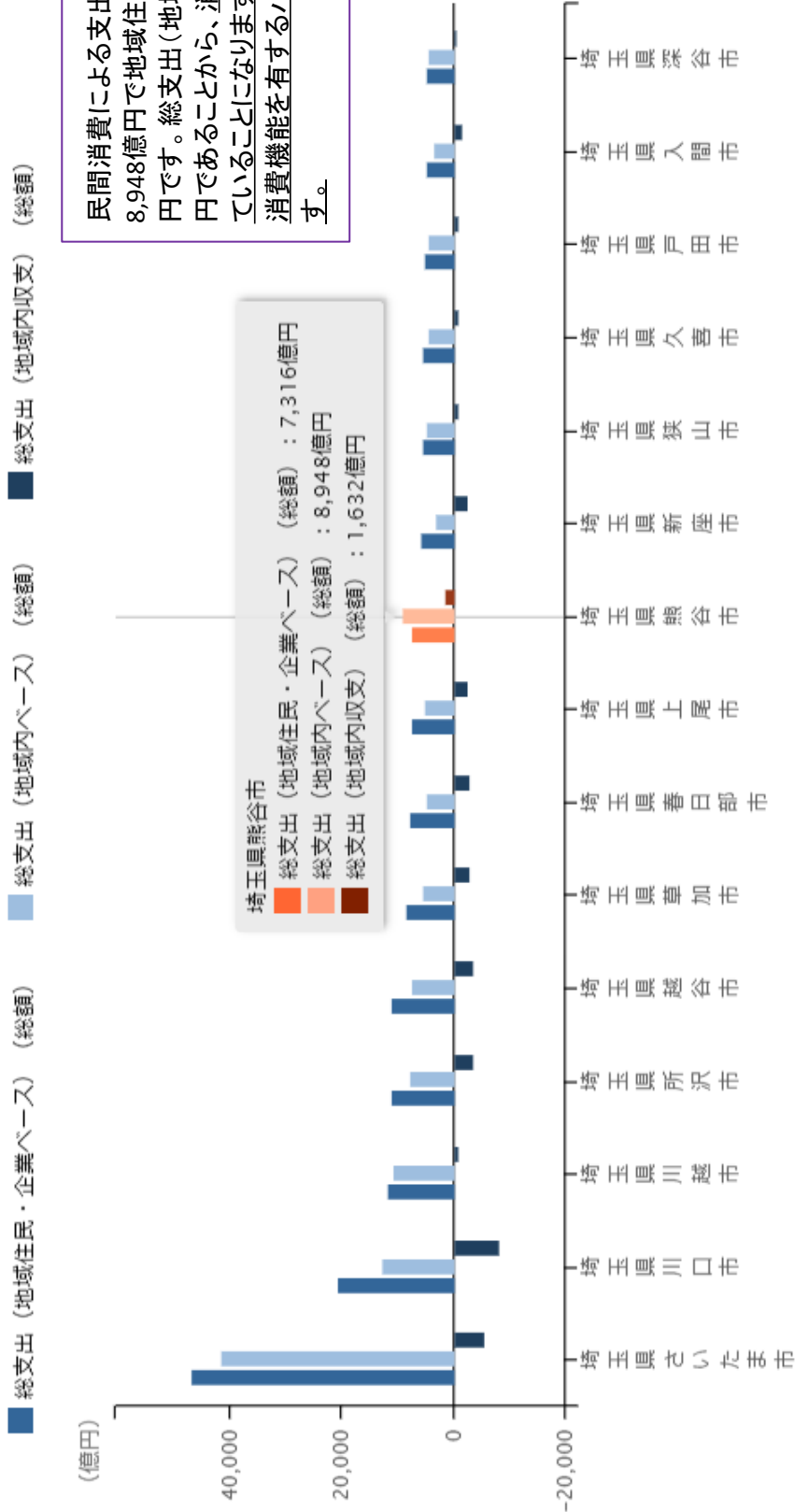
支出分析

都道府県・市町村単位で、地域経済について支出面から分析することで、地域における民間消費額、民間投資額、それらの流出入状況などを把握することができます。

民間消費（総額）

2013年

指定地域：埼玉県熊谷市



民間消費による支出では、地域内ベースが8,948億円で地域住民・企業ベースで7,316億円です。総支出（地域内収支）が、+1,632億円であることから、消費が地域外から流入していることとなります。観光地や商業施設等、消費機能を有するパターンの地域に該当します。

【出典】

「RESAS地域経済循環マップ」－「支出分析」/環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）
※「民間消費（地域住民・企業ベース）」とは、どこで消費したかを問わず、地域の住民等が消費した額をいう。

「民間消費（地域内ベース）」とは、地域内に消費された金額をいう。

民間消費（地域内収支）＝総支出（地域内ベース）－総支出（地域住民・企業ベース）

一人当たり民間消費（地域住民・企業ベース）＝民間消費（地域住民・企業ベース）÷夜間人口

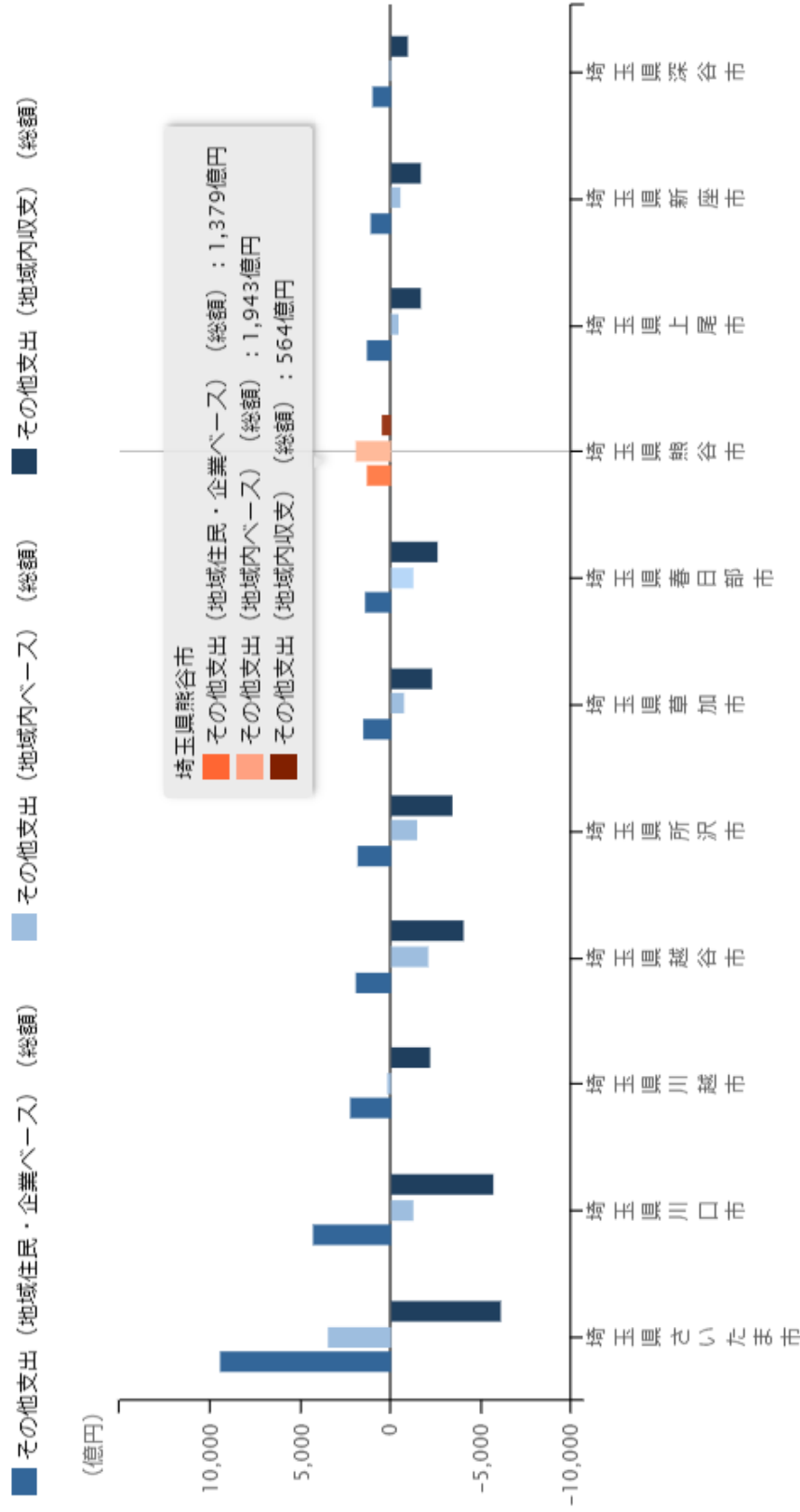
一人当たり民間消費（地域内ベース）＝民間消費（地域内ベース）÷昼間人口

支出分析

その他支出（総額）

2013年

指定地域：埼玉県熊谷市



- その他支出＝公務＋公共事業＋公的在庫品増減
公務⇒教育・警察・消防など様々な行政サービスに伴う、コスト・人件費・民間企業への支払いなど
公共事業⇒社会資本整備にかかる投資額
公的在庫品の増減⇒食糧・原油等の備蓄品の増減
- 地域の総支出には、民間の消費と投資のほかに政府による支出および移転出入が含まれています。政府（国、都道府県、市町村）は、地域の住民に対して様々なサービスを提供しており、政府支出はそのような行政サービスの提供に伴い発生したコストを合計したものです。（地域経済分析の手引きから）

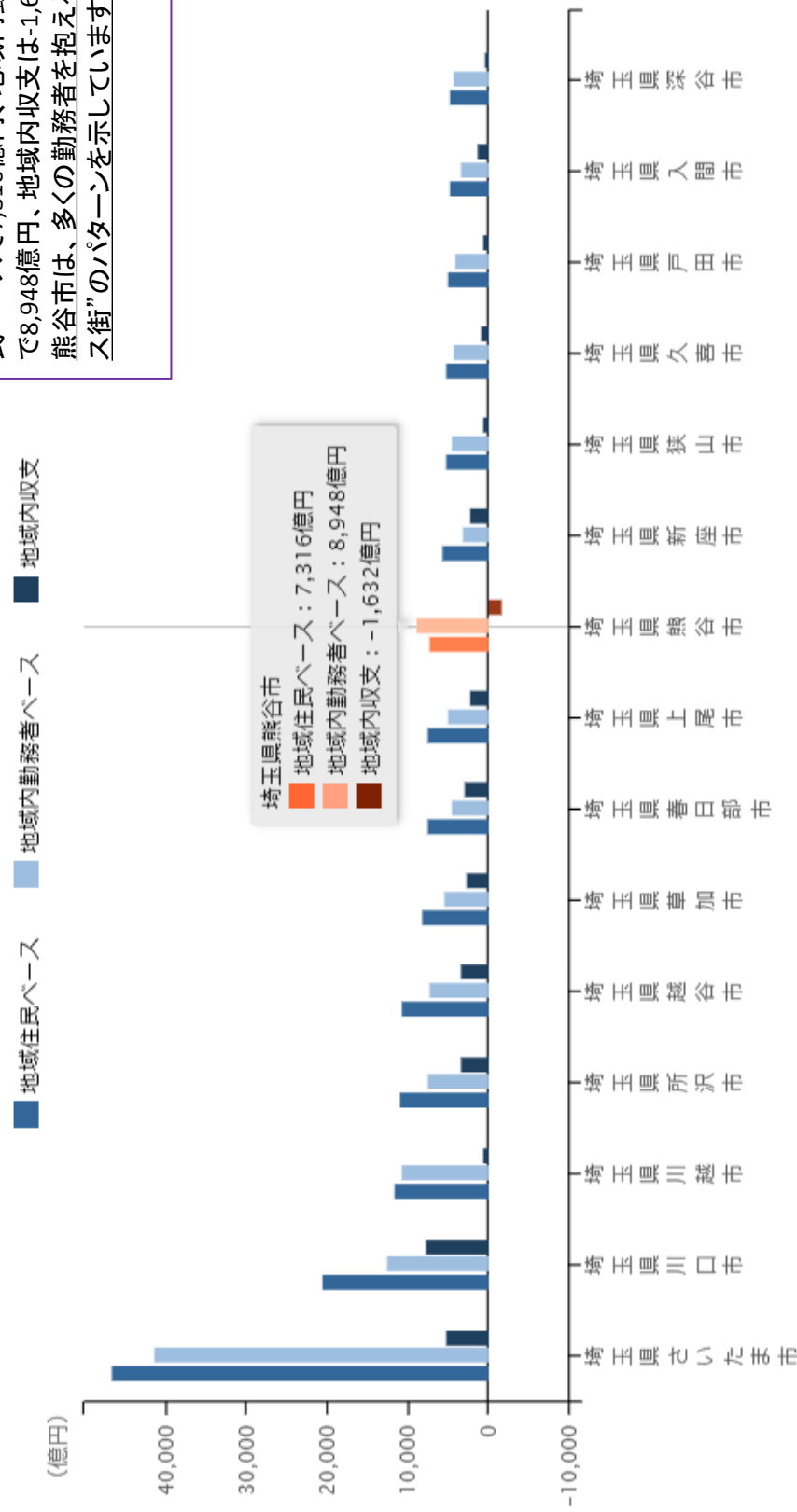
分配分析

都道府県・市町村単位で、地域経済について分配面から分析することで、地域における雇用者所得、その他所得、それらの流出状況や他地域と比較した所得水準の優位性等を把握することができます。

雇用者所得(総額)

2013年

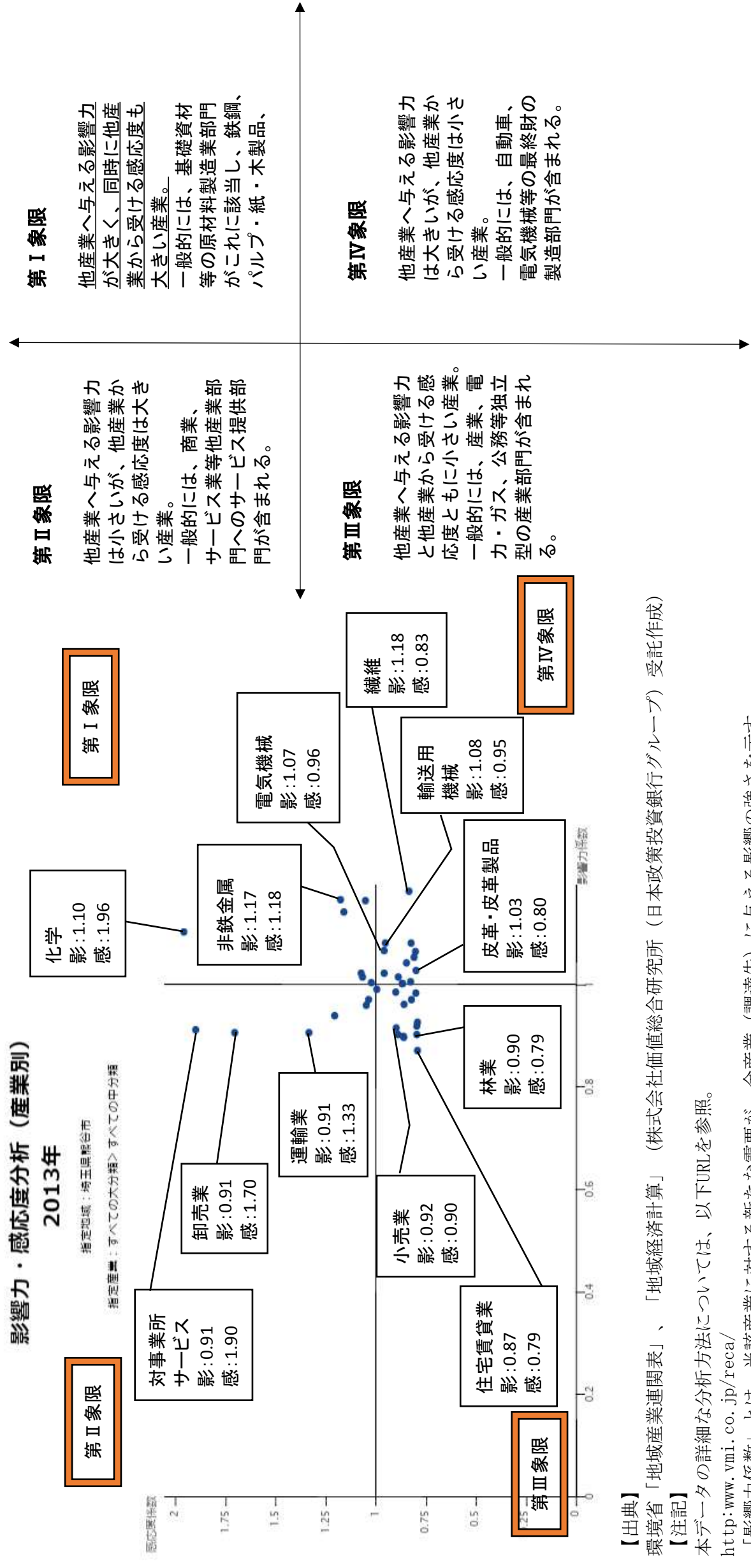
指定地域：埼玉県熊谷市



雇用者所得の総額では、熊谷市は地域住民ベースで7,316億円、地域内勤務者ベースで8,948億円、地域内収支は-1,632億円です。熊谷市は、多くの勤務者を抱える。“ビジネス街”のパターンを示しています。

【出典】「RESAS地域経済循環マップ」－「分配分析」/環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」(株式会社価値総合研究所(日本政策投資銀行グループ))

熊谷市の産業構造



【出典】環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算」（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）

【注記】本データの詳細な分析方法については、以下URLを参照。
<http://www.vmi.co.jp/reca/>
「影響力係数」とは、当該産業に対する新たな需要が、全産業（調達先）に与える影響の強さを示す。
「感応度係数」とは、全産業に対する新たな需要による当該産業が受ける影響の強さを示す。

○地域経済循環率の推移

(単位:億円)

自治体名	2010		2013		比較 (%)	生産 (付加価値額)		分配 (所得)		
	循環率 (%)	県内 (市) 順位	循環率 (%)	県内 (市) 順位		2010	2013	2010	2013	
1	さいたま市	85.6	9	88.5	7	2.9	39,458	41,430	46,686	46,815
2	川越市	91.8	6	92.6	5	0.8	10,544	10,805	11,569	11,666
3	熊谷市	113.2	1	122.3	1	9.1	8,273	8,948	7,362	7,316
4	川口市	63.6	33	61.5	34	-2.1	12,526	12,747	20,045	20,716
5	行田市	83.7	14	82.2	15	-1.5	2,413	2,391	2,928	2,908
6	秩父市	85.5	10	85.0	10	-0.5	1,879	1,809	2,224	2,129
7	所沢市	68.5	24	68.7	23	0.2	7,821	7,618	11,390	11,092
8	飯能市	75.8	16	80.1	16	4.3	2,385	2,341	3,093	2,923
9	加須市	85.2	11	84.8	12	-0.4	3,393	3,402	4,049	4,010
10	本庄市	94.1	5	98.2	3	4.1	2,826	2,968	3,010	3,022
11	東松山市	84.7	12	84.9	11	0.2	2,529	2,624	3,033	3,091
12	春日部市	63.6	33	61.4	36	-2.2	4,730	4,696	7,607	7,652
13	狭山市	83.9	13	87.4	9	3.5	4,508	4,679	5,455	5,354
14	羽生市	102.3	2	98.6	2	-3.7	1,980	1,956	1,952	1,984
15	鴻巣市	66.9	28	62.8	32	-4.1	2,682	2,517	4,059	4,005
16	深谷市	95.3	3	89.0	6	-6.3	5,133	4,403	5,390	4,945
17	上尾市	70.0	23	68.4	24	-1.6	5,187	5,156	7,492	7,540
18	草加市	66.0	29	66.1	27	0.1	5,400	5,483	8,307	8,298
19	越谷市	68.2	26	67.0	26	-1.2	7,269	7,335	10,884	10,941
20	蕨市	71.8	20	69.6	21	-2.2	1,902	1,843	2,685	2,649
21	戸田市	86.9	7	84.8	12	-2.1	4,389	4,312	5,097	5,083
22	入間市	71.4	21	71.4	19	0	3,681	3,528	5,133	4,945
23	朝霞市	63.3	35	61.5	34	-1.8	2,820	2,771	4,569	4,508
24	志木市	57.5	38	52.7	39	-4.8	1,346	1,273	2,378	2,415
25	和光市	57.3	39	58.0	37	0.7	1,718	1,819	3,120	3,138
26	新座市	60.2	37	57.9	38	-2.3	3,387	3,296	5,650	5,692
27	桶川市	74.2	17	72.4	17	-1.8	1,822	1,810	2,475	2,501
28	久喜市	86.4	8	82.3	14	-4.1	4,599	4,399	5,387	5,348
29	北本市	65.4	30	64.1	31	-1.3	1,490	1,467	2,304	2,289
30	八潮市	94.9	4	96.0	4	1.1	2,973	3,099	3,148	3,229
31	富士見市	46.2	40	47.5	40	1.3	1,561	1,681	3,482	3,541
32	三郷市	68.5	24	68.3	25	-0.2	3,094	3,260	4,626	4,770
33	蓮田市	64.1	32	70.6	20	6.5	1,314	1,536	2,070	2,177
34	坂戸市	71.1	22	69.0	22	-2.1	2,207	2,193	3,178	3,178
35	幸手市	72.1	19	71.9	18	-0.2	1,223	1,281	1,741	1,780
36	鶴ヶ島市	72.2	18	65.0	28	-7.2	1,658	1,506	2,334	2,316
37	日高市	80.5	15	87.7	8	7.2	1,500	1,710	1,872	1,950
38	吉川市	64.6	31	64.3	30	-0.3	1,416	1,382	2,214	2,148
39	ふじみ野市	68.2	26	64.7	29	-3.5	2,427	2,320	3,591	3,587
40	白岡市	62.1	36	61.7	33	-0.4	1,002	1,036	1,645	1,680
	滑川町	117.7		115.0			722	715	621	621
	嵐山町	100.6		103.0			645	681	652	661
	吉見町	105.0		106.8			839	885	803	829
	太田市	116.3		117.2			10,492	10,942	8,931	9,339
	群馬県	98.0		98.2			73,897	74,605	75,758	75,959
	埼玉県	77.6		77.6			193,984	196,223	252,999	253,010
	東京都	151.8		154.5			878,753	866,179	567,666	560,569

・ 順位…県内40市の中での順位

地域経済循環マップ 熊谷市の生産・分配・支出の推移(2010→2013)

●付加価値額(一人当たり)

	付加価値額(万円)			全国順位	
	2010	2013	比較	2010	2013
第1次産業	157	128	-29	1,296	1,402
第2次産業	1,071	1,482	411	269	175
第3次産業	809	755	-54	387	359

●所得(一人当たり)

	所得(万円)			全国順位	
	2010	2013	比較	2010	2013
雇用者所得	456	459	3	401	398
その他所得	143	136	-7	1,441	1,448

●支出流出入率

	支出流出入率(%)			全国順位	
	2010	2013	比較	2010	2013
民間消費	16.6	16.9	0.3	402	326
民間投資	12.6	23.1	10.5	244	135
その他支出	-0.8	40.9	41.7	329	191

「雇用者所得」:労働の対価として得る賃金・給料等をいう。

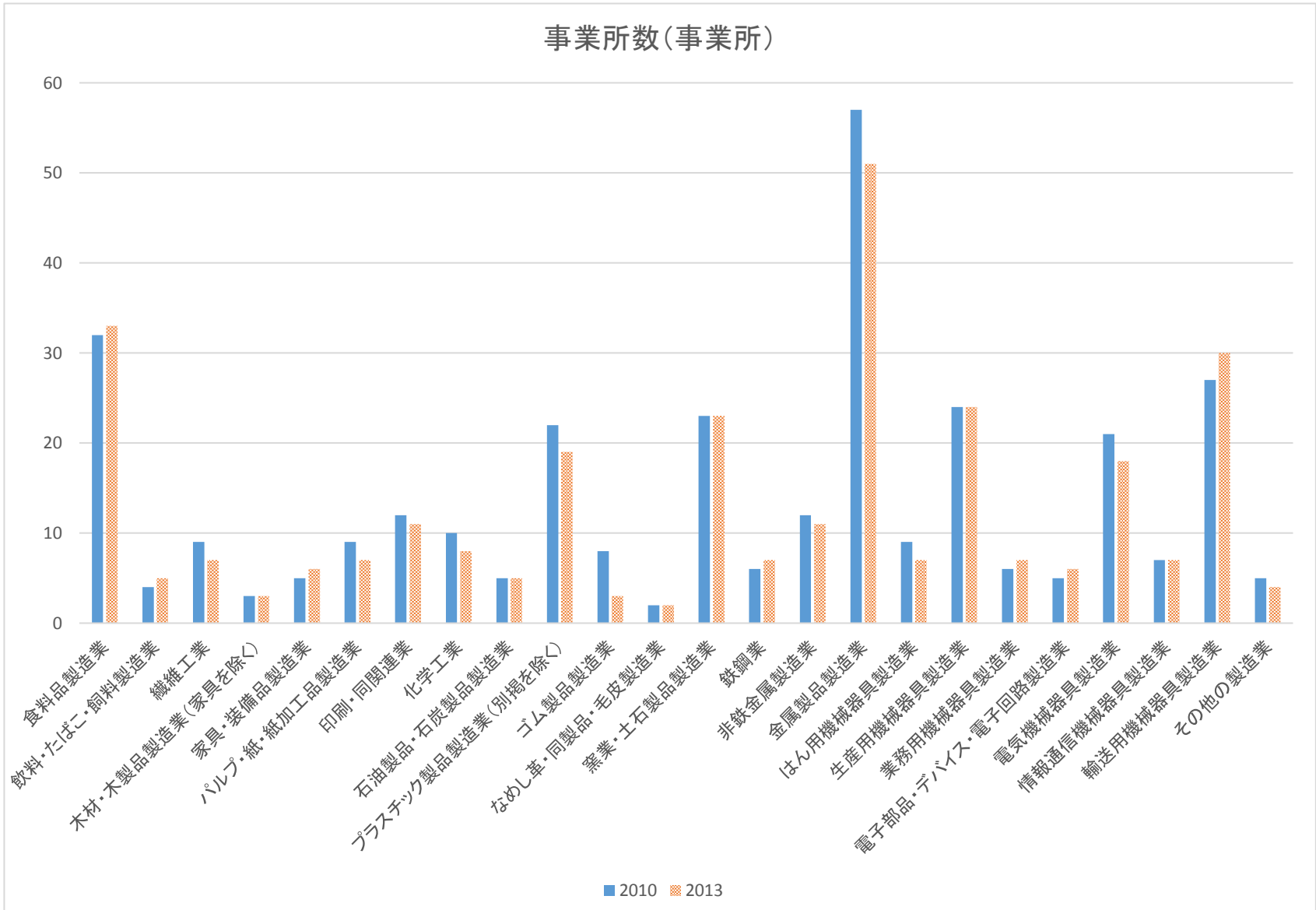
「その他所得」:財産所得・企業所得・交付税・社会保障給付など雇用者所得以外の所得

「支出流出入率」:プラスは地域外からの流入・マイナスは地域外への流出

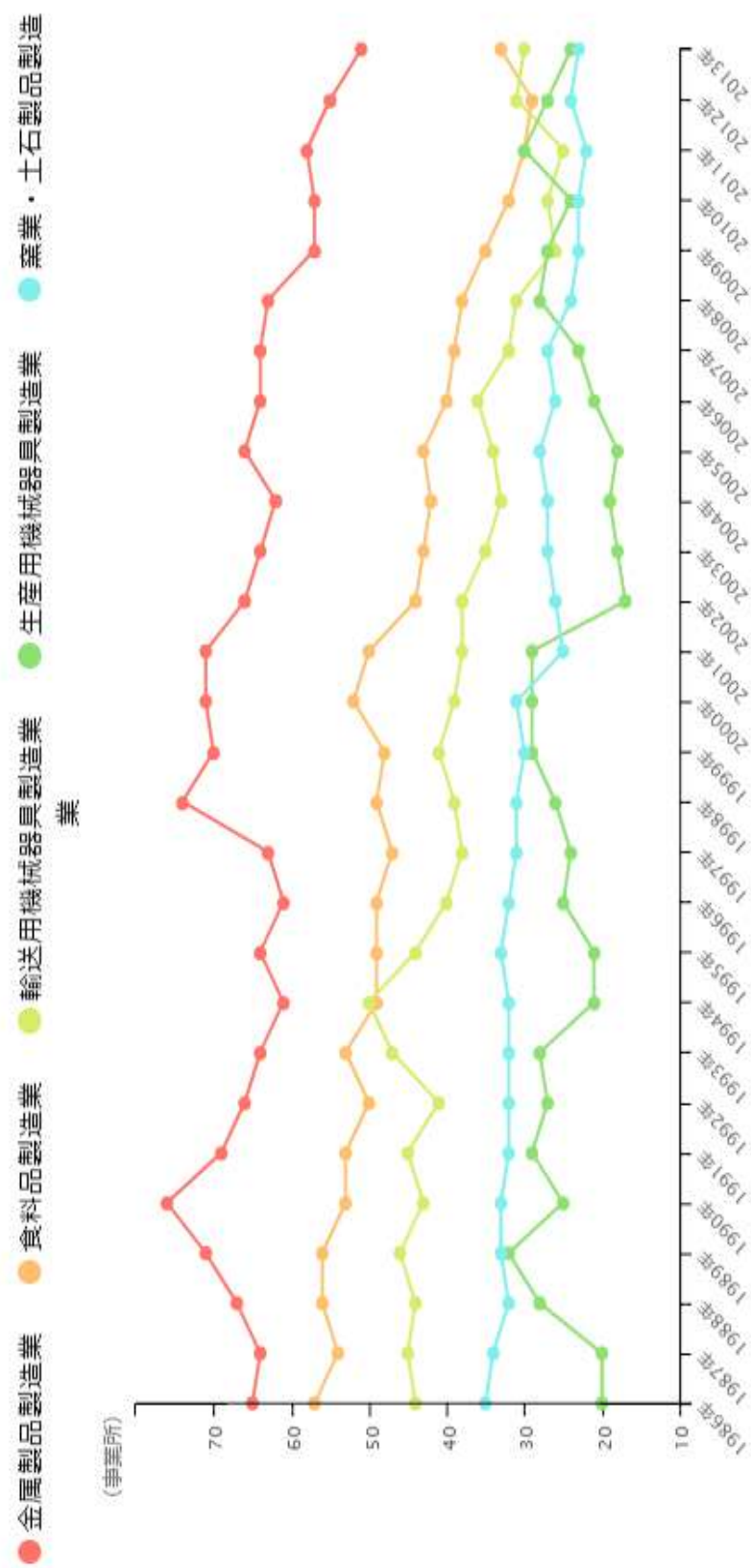
「その他支出」:地域内産業の移輸出入収支額、政府支出など

○製造業「事業所数」の推移

	事業所数(事業所)	2010	2013	増減
9	食料品製造業	32	33	1
10	飲料・たばこ・飼料製造業	4	5	1
11	繊維工業	9	7	-2
12	木材・木製品製造業(家具を除く)	3	3	0
13	家具・装備品製造業	5	6	1
14	パルプ・紙・紙加工品製造業	9	7	-2
15	印刷・同関連業	12	11	-1
16	化学工業	10	8	-2
17	石油製品・石炭製品製造業	5	5	0
18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)	22	19	-3
19	ゴム製品製造業	8	3	-5
20	なめし革・同製品・毛皮製造業	2	2	0
21	窯業・土石製品製造業	23	23	0
22	鉄鋼業	6	7	1
23	非鉄金属製造業	12	11	-1
24	金属製品製造業	57	51	-6
25	はん用機械器具製造業	9	7	-2
26	生産用機械器具製造業	24	24	0
27	業務用機械器具製造業	6	7	1
28	電子部品・デバイス・電子回路製造業	5	6	1
29	電気機械器具製造業	21	18	-3
30	情報通信機械器具製造業	7	7	0
31	輸送用機械器具製造業	27	30	3
32	その他の製造業	5	4	-1
合 計		323	304	-19

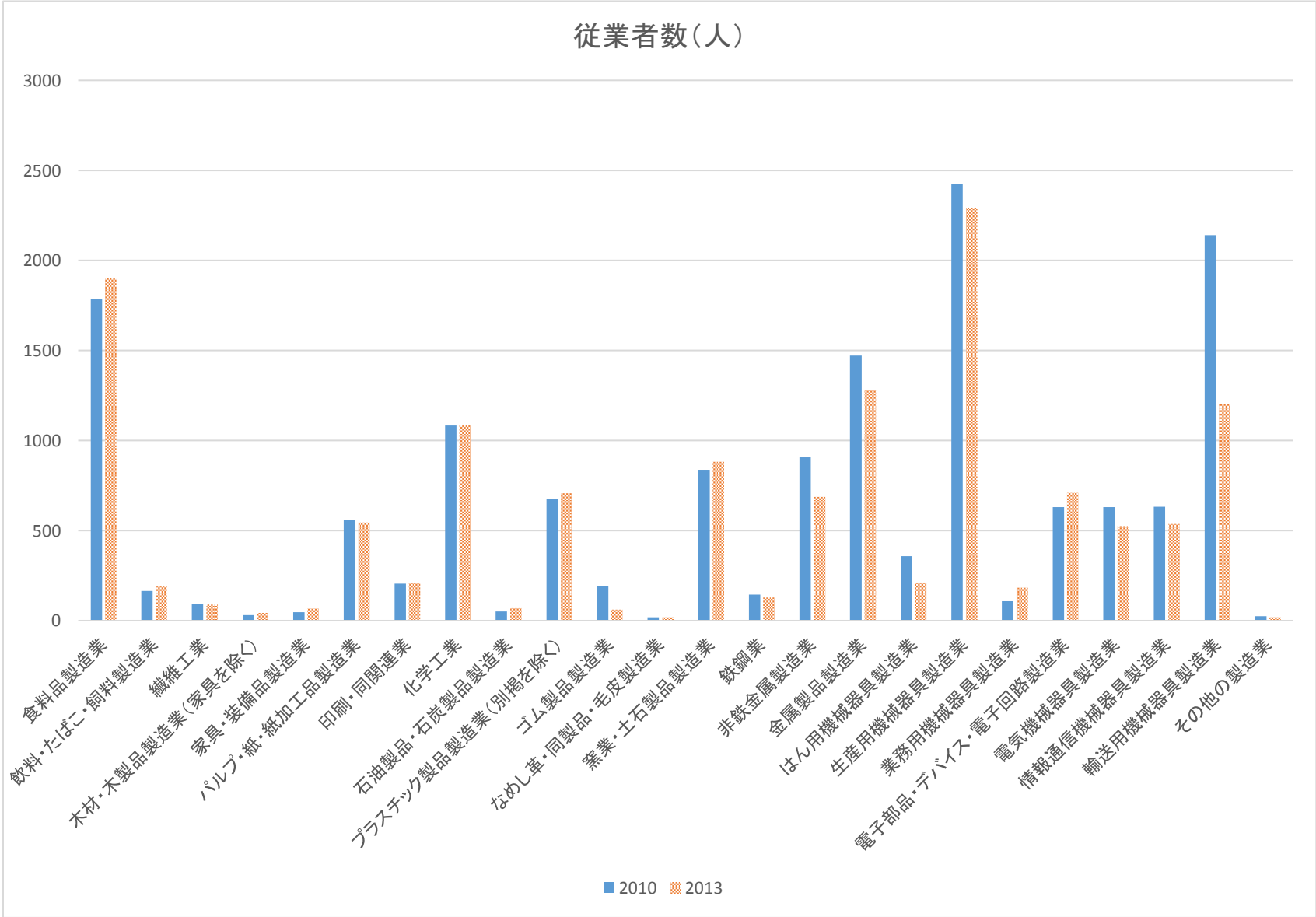


事業所数(実数)の推移

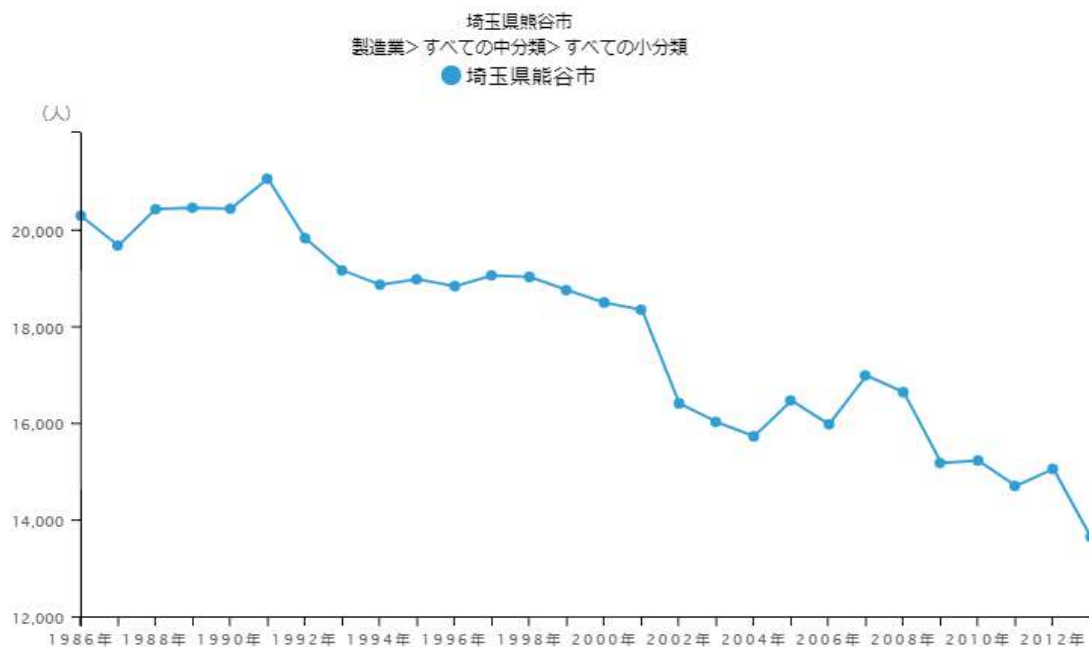
埼玉県熊谷市
製造業>すべての中分類

○製造業「従業者数」の推移

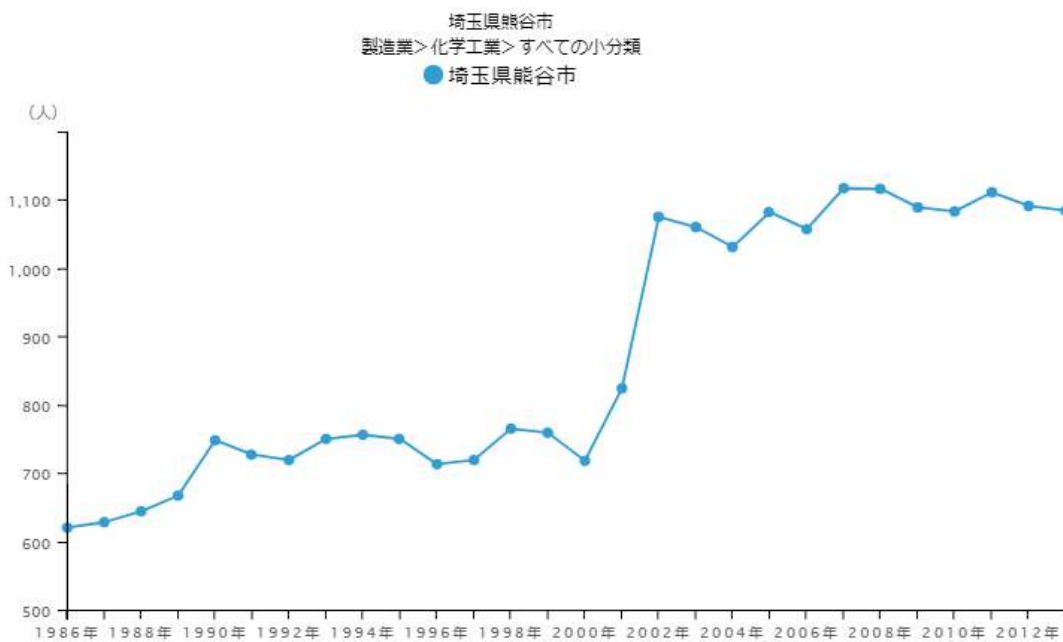
	従業者数(人)	2010	2013	増減
9	食料品製造業	1785	1903	118
10	飲料・たばこ・飼料製造業	166	190	24
11	繊維工業	94	90	-4
12	木材・木製品製造業(家具を除く)	31	44	13
13	家具・装備品製造業	48	68	20
14	パルプ・紙・紙加工品製造業	560	545	-15
15	印刷・同関連業	205	208	3
16	化学工業	1083	1084	1
17	石油製品・石炭製品製造業	52	69	17
18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)	676	707	31
19	ゴム製品製造業	193	61	-132
20	なめし革・同製品・毛皮製造業	19	19	0
21	窯業・土石製品製造業	837	883	46
22	鉄鋼業	144	129	-15
23	非鉄金属製造業	906	687	-219
24	金属製品製造業	1471	1278	-193
25	はん用機械器具製造業	359	212	-147
26	生産用機械器具製造業	2427	2291	-136
27	業務用機械器具製造業	108	183	75
28	電子部品・デバイス・電子回路製造業	630	710	80
29	電気機械器具製造業	630	525	-105
30	情報通信機械器具製造業	632	537	-95
31	輸送用機械器具製造業	2141	1203	-938
32	その他の製造業	24	18	-6
	合 計	15221	13644	-1577



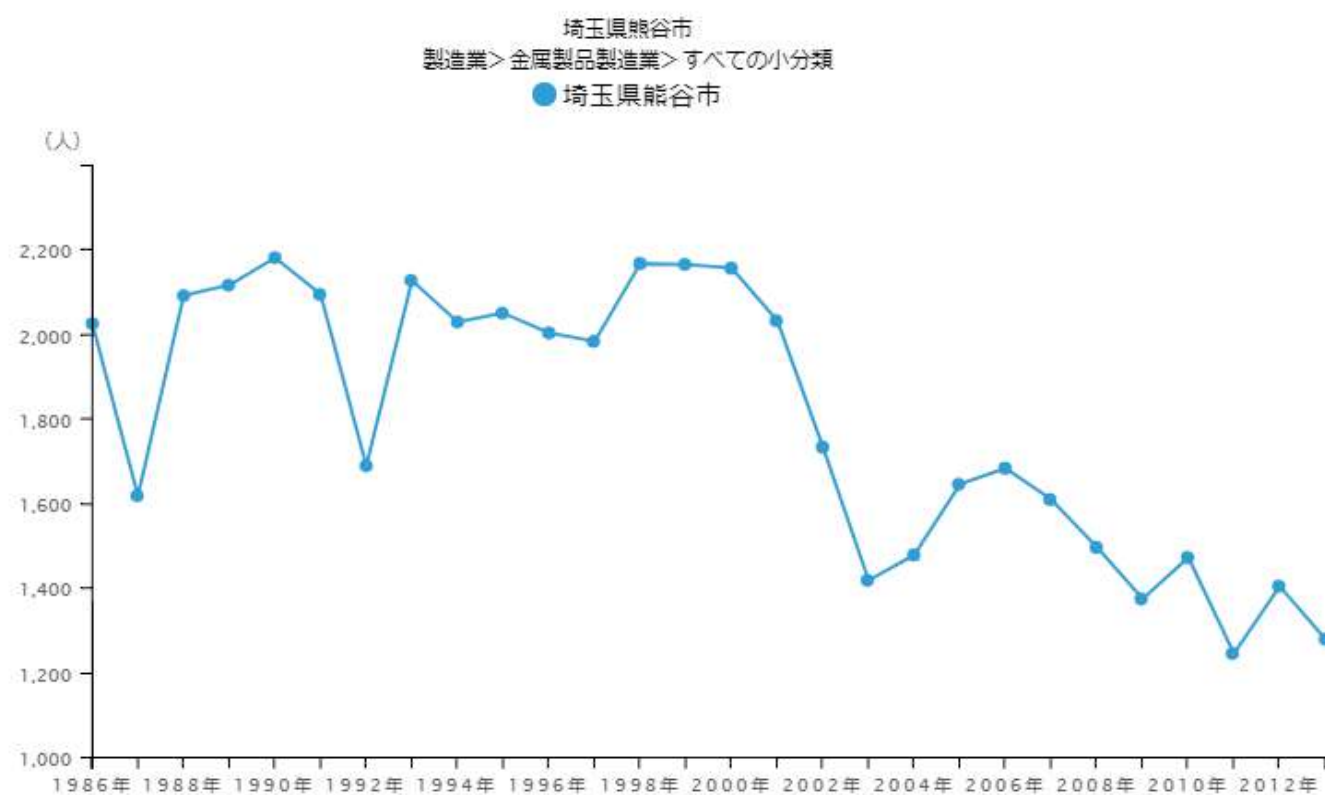
常用従業者数(実数)の推移



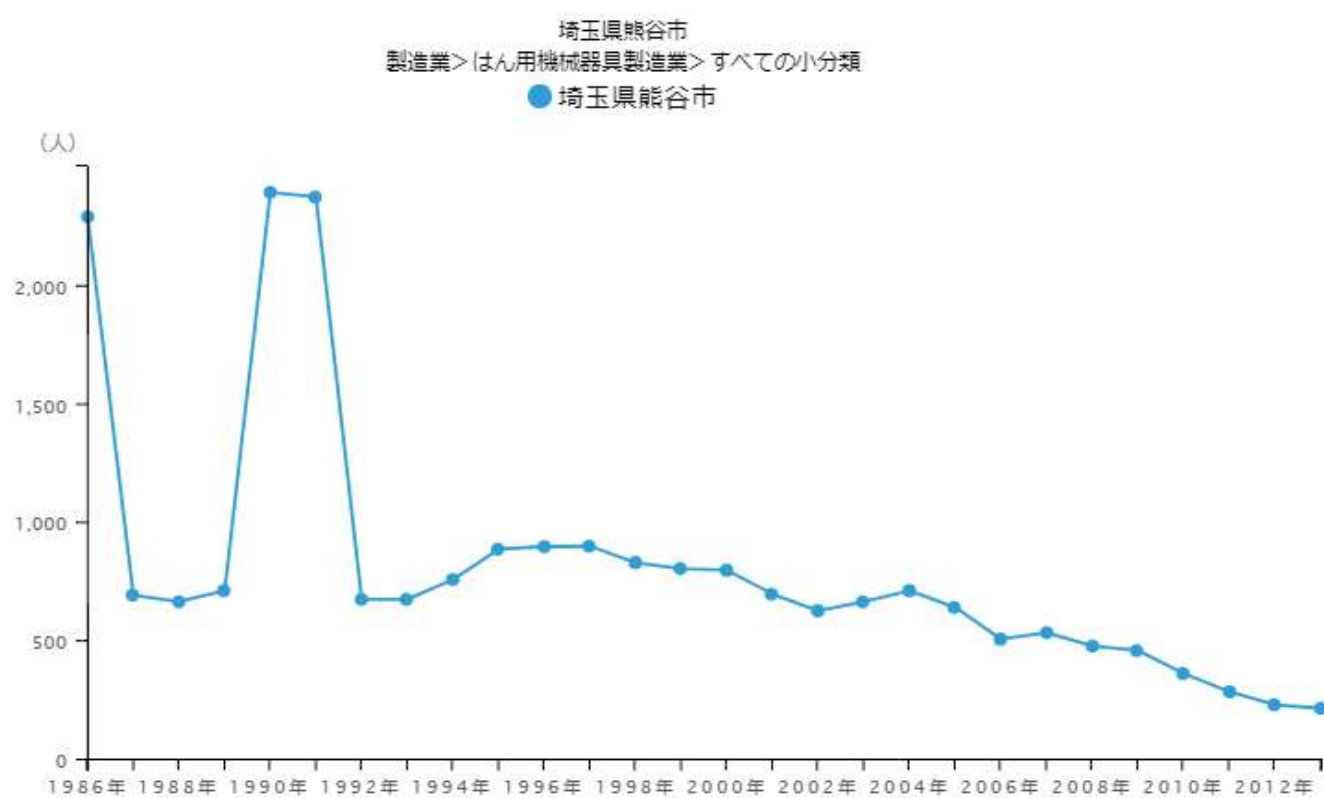
常用従業者数(実数)の推移



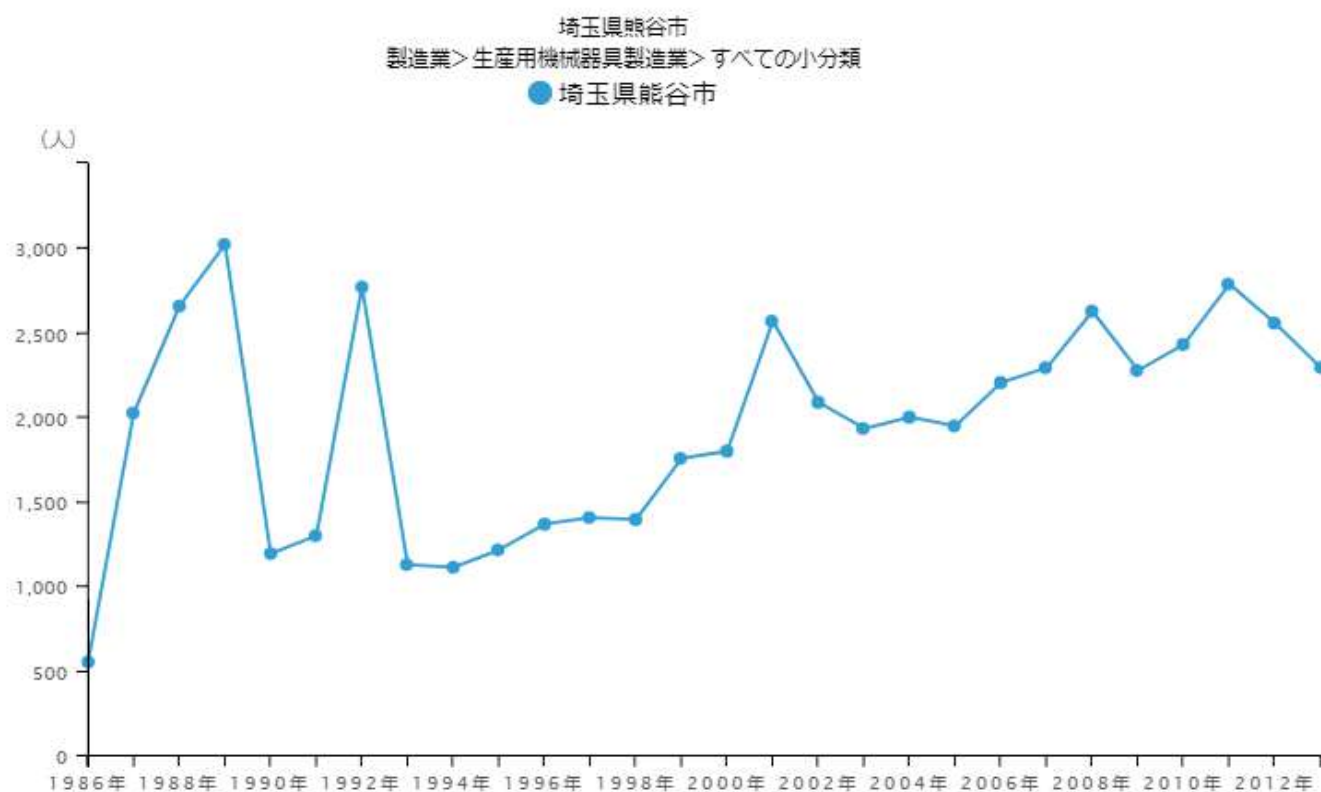
常用従業者数(実数)の推移



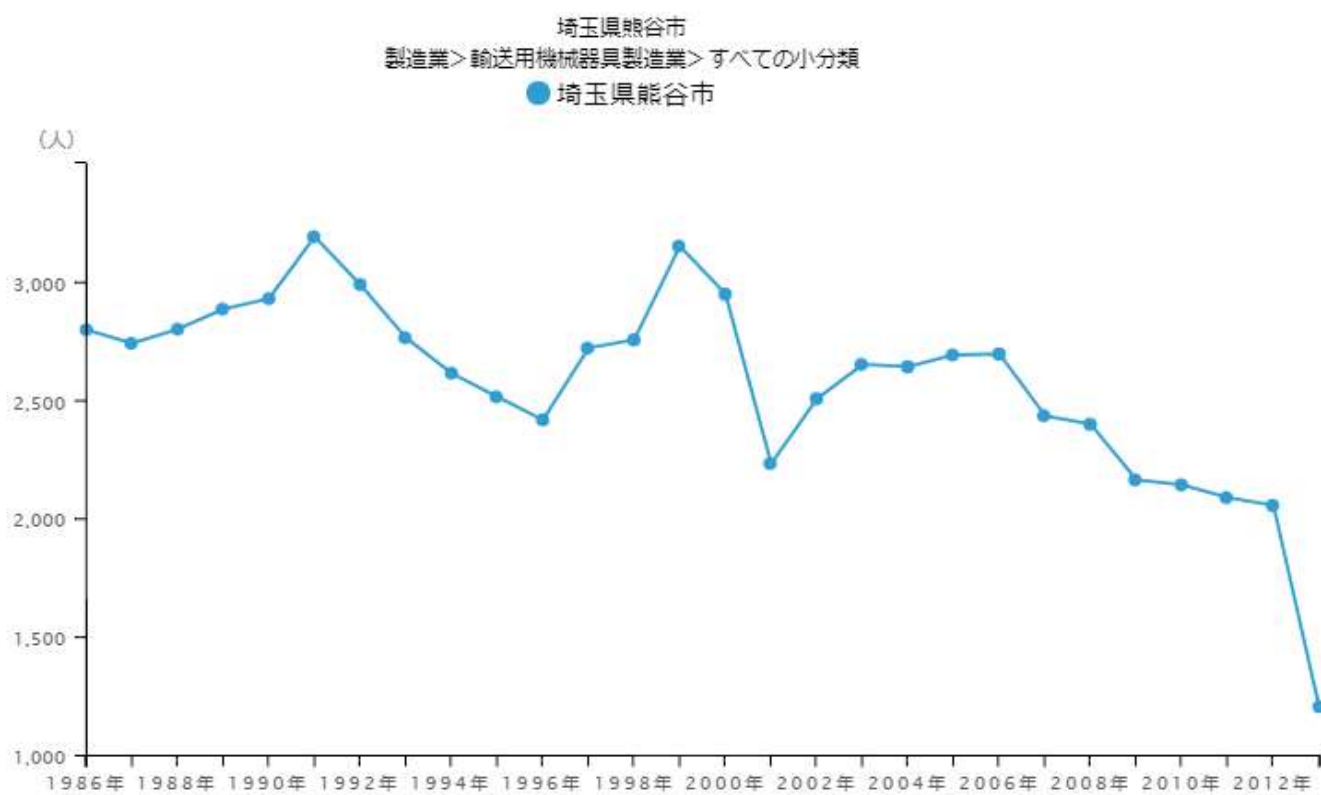
常用従業者数(実数)の推移



常用従業者数(実数)の推移



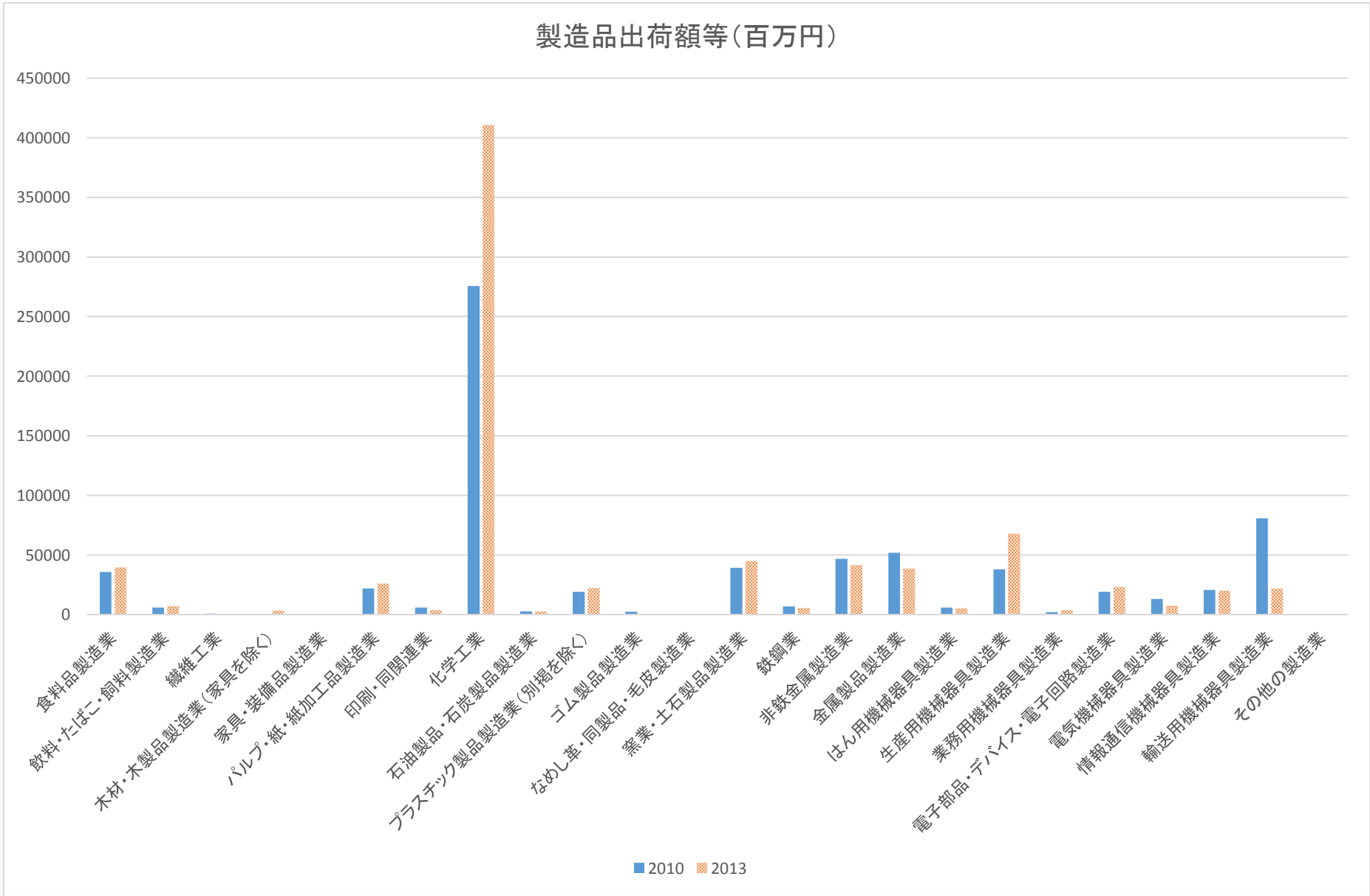
常用従業者数(実数)の推移



○製造業 「製造品出荷額」等の推移

	製造品出荷額等(百万円)	2010	2013	増減
9	食料品製造業	35805.36	39530.19	3724.83
10	飲料・たばこ・飼料製造業	5732.79	7008.83	1276.04
11	繊維工業	678.21	563.51	-114.7
12	木材・木製品製造業(家具を除く)	X	3393.05	
13	家具・装備品製造業	598.86	616.17	17.31
14	パルプ・紙・紙加工品製造業	22019.7	26125.31	4105.61
15	印刷・同関連業	5737.97	3712.04	-2025.93
16	化学工業	275745.57	410676.38	134930.81
17	石油製品・石炭製品製造業	2687.5	2678.25	-9.25
18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)	18938.66	22136.36	3197.7
19	ゴム製品製造業	2516.46	X	
20	なめし革・同製品・毛皮製造業	X	X	
21	窯業・土石製品製造業	39219.59	45025.38	5805.79
22	鉄鋼業	6782.44	5638.19	-1144.25
23	非鉄金属製造業	46688.37	41419.93	-5268.44
24	金属製品製造業	51802.23	38746.29	-13055.94
25	はん用機械器具製造業	5769.61	5273.68	-495.93
26	生産用機械器具製造業	37853.76	67905.71	30051.95
27	業務用機械器具製造業	2128.2	3618.3	1490.1
28	電子部品・デバイス・電子回路製造業	19130.98	23130.38	3999.4
29	電気機械器具製造業	13028.94	7466.5	-5562.44
30	情報通信機械器具製造業	20745.1	20109.4	-635.7
31	輸送用機械器具製造業	80669.24	21890.43	-58778.81
32	その他の製造業	189.55	289.15	99.6
	合 計	694469.09	796953.43	102484.34

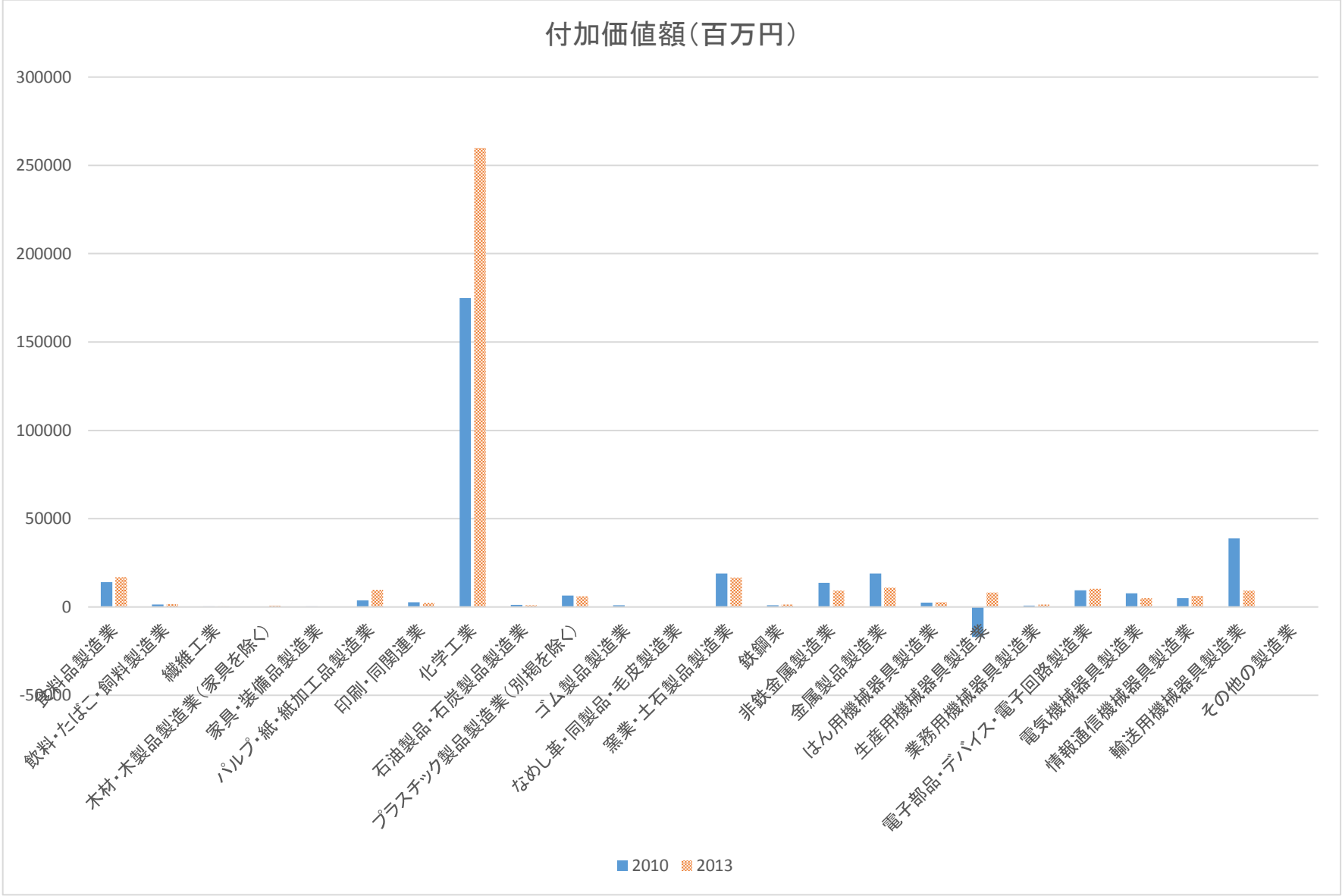
X:0としてカウント



○製造業「付加価値額」の推移

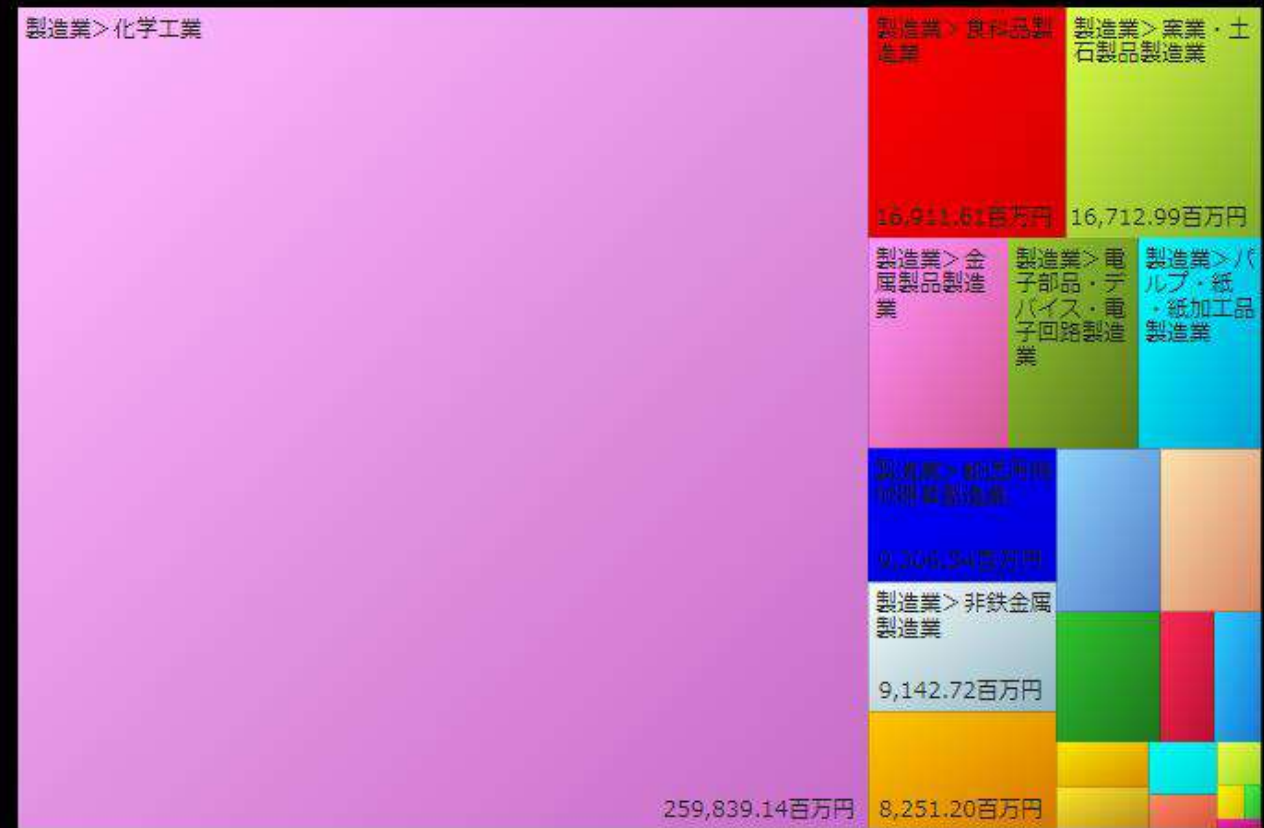
	付加価値額(百万円)	2010	2013	増減
9	食料品製造業	14132.69	16911.61	2778.92
10	飲料・たばこ・飼料製造業	1379.24	1564.91	185.67
11	繊維工業	446.83	360.56	-86.27
12	木材・木製品製造業(家具を除く)	X	706.91	
13	家具・装備品製造業	305.73	202.14	-103.59
14	パルプ・紙・紙加工品製造業	3803.47	9625.48	5822.01
15	印刷・同関連業	2743.68	2264.56	-479.12
16	化学工業	174956.33	259839.14	84882.81
17	石油製品・石炭製品製造業	1195.26	889.75	-305.51
18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)	6486.77	6105.32	-381.45
19	ゴム製品製造業	1012.28	X	
20	なめし革・同製品・毛皮製造業	X	X	
21	窯業・土石製品製造業	18912.08	16712.99	-2199.09
22	鉄鋼業	970.26	1311.65	341.39
23	非鉄金属製造業	13663.41	9142.72	-4520.69
24	金属製品製造業	18852.56	10944.7	-7907.86
25	はん用機械器具製造業	2494.98	2584.54	89.56
26	生産用機械器具製造業	-16956.29	8251.2	25207.49
27	業務用機械器具製造業	774.36	1453.94	679.58
28	電子部品・デバイス・電子回路製造業	9443.44	10247.22	803.78
29	電気機械器具製造業	7847.02	5014.82	-2832.2
30	情報通信機械器具製造業	5040.72	6301.95	1261.23
31	輸送用機械器具製造業	38804.95	9306.54	-29498.41
32	その他の製造業	97.97	196.25	98.28
	合 計	306407.74	379938.9	73531.16

X:0としてカウント



2013年 付加価値額(実数) 製造業>すべての中分類
埼玉県熊谷市

380,897.94百万円



2013年 付加価値額(1事業所あたり) 製造業>すべての中分類
埼玉県熊谷市

1,252.95百万円/事業所

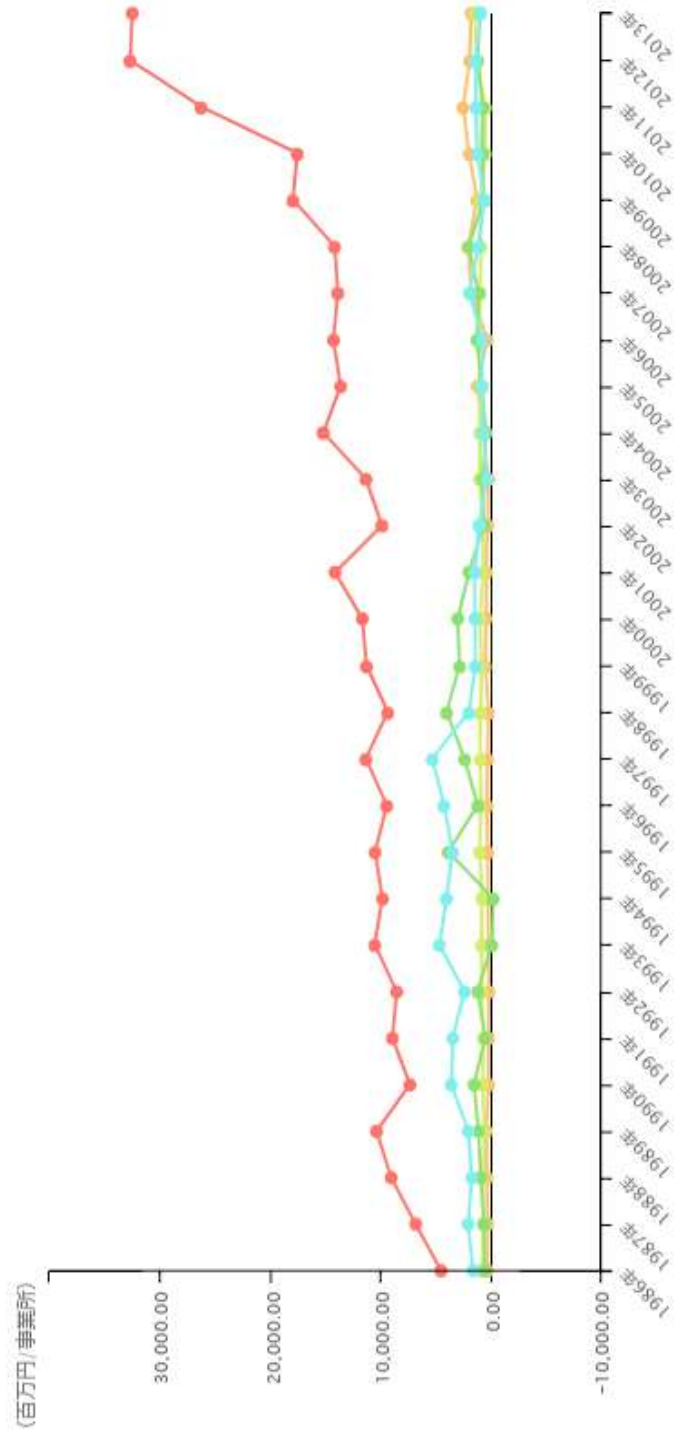


付加価値額(1事業所あたり)の推移

埼玉県熊谷市

製造業>すべての中分類

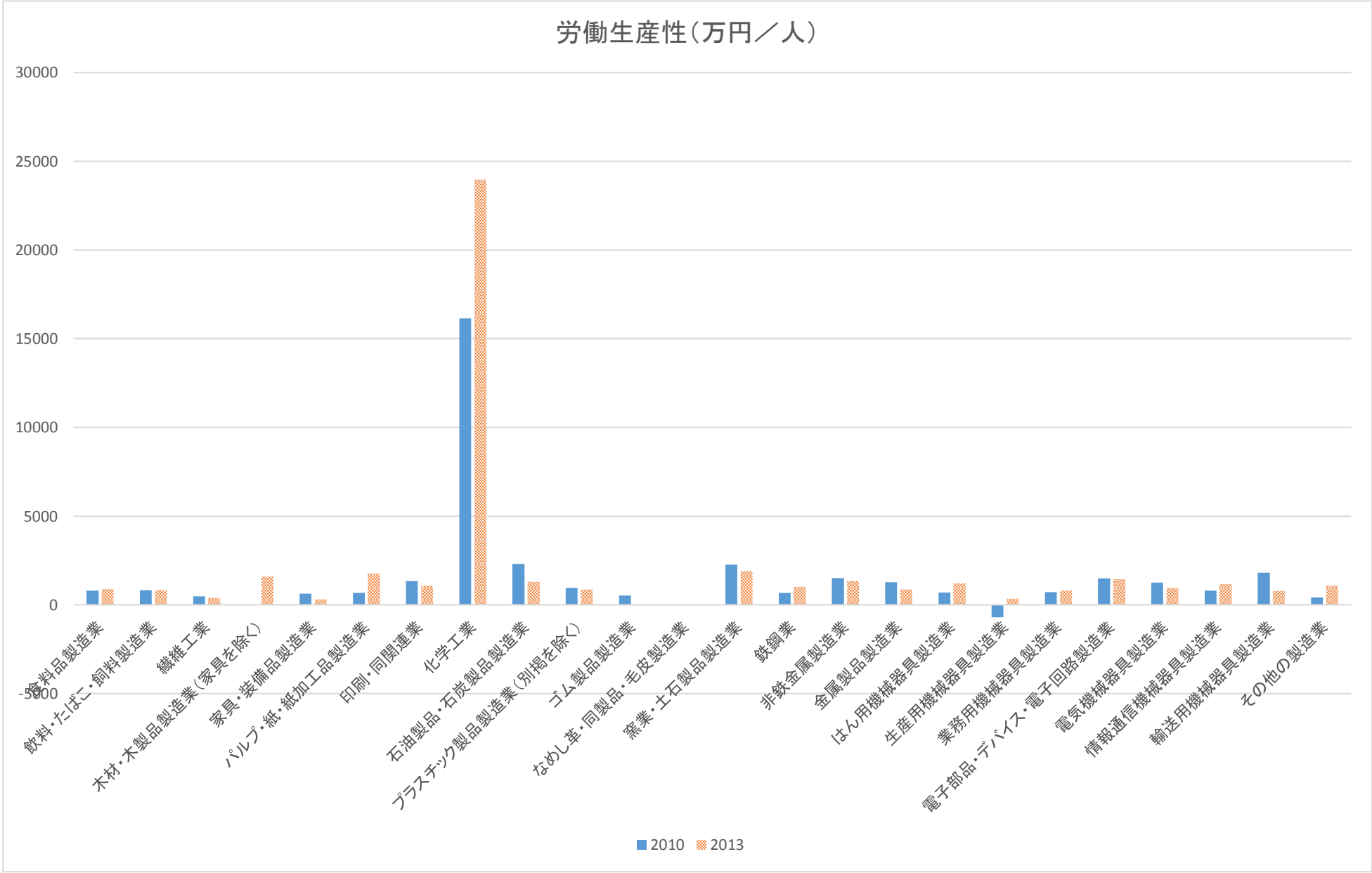
- 化学工業
- 電子部品・デバイス・電子回路製造業
- パルプ・紙・紙加工品製造業
- 情報通信機械器具製造業
- 非鉄金属製造業



○製造業 労働生産性の推移

	労働生産性(万円／人)	2010	2013	増減
9	食料品製造業	791.7473	888.6816	96.9343
10	飲料・たばこ・飼料製造業	830.8675	823.6368	-7.2307
11	繊維工業	475.3511	400.6222	-74.7289
12	木材・木製品製造業(家具を除く)	X	1606.6136	
13	家具・装備品製造業	636.9375	297.2647	-339.6728
14	パルプ・紙・紙加工品製造業	679.1911	1766.1431	1086.952
15	印刷・同関連業	1338.3805	1088.7308	-249.6497
16	化学工業	16154.7858	23970.4004	7815.6146
17	石油製品・石炭製品製造業	2298.5769	1289.4928	-1009.0841
18	プラスチック製品製造業(別掲を除く)	959.5814	863.553	-96.0284
19	ゴム製品製造業	524.4974	X	
20	なめし革・同製品・毛皮製造業	X	X	
21	窯業・土石製品製造業	2259.5078	1892.7508	-366.757
22	鉄鋼業	673.7917	1016.7829	342.9912
23	非鉄金属製造業	1508.1026	1330.818	-177.2846
24	金属製品製造業	1281.6152	856.3928	-425.2224
25	はん用機械器具製造業	694.9805	1219.1226	524.1421
26	生産用機械器具製造業	-698.6522	360.1571	1058.8093
27	業務用機械器具製造業	717	794.5027	77.5027
28	電子部品・デバイス・電子回路製造業	1498.9587	1443.2704	-55.6883
29	電気機械器具製造業	1245.5587	955.2038	-290.3549
30	情報通信機械器具製造業	797.5823	1173.5475	375.9652
31	輸送用機械器具製造業	1812.4685	773.611	-1038.8575
32	その他の製造業	408.2083	1090.2778	682.0695
	合 計	36889.0386	45901.5764	9012.5378

X:0としてカウント



労働生産性(実数)の推移

